

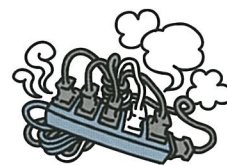
火の用心、防火10のポイント

1 天ぷらを揚げるときは、その場を離れないようにしましょう。

2 寝たばこ、たばこの投げ捨てはやめましょう。

3 風の強いときは、たき火をしないようにしましょう。

4 家の周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。



5 子供をマッチやライターで遊ばせないようにしましょう。

6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はやめましょう。

7 ストープには燃えやすい物を近づけないようにしましょう。

8 寝る前に必ず火元を確かめましょう。

9 高齢者の部屋は避難に便利な一階にしましょう。

10 消火の備えを万全にしましょう。

全国火災予防運動

11月9日(火)～15日(月)

標語

『火は消した？
いつも心にきいてみて』

消防署からのお知らせ

●天然ガスの爆発事故防止

千葉県では、天然ガスが湧き出るいわゆる「上ガス」が古くから知られています。

天然ガスは、毒性はありませんが、空気と一定の割合で混ざった時、火気に触れると爆発の可能性があります。大勢の方が出入りする施設や一般住宅等について、住民の不安を解消するため希望により点検調査を行います。

●防火診断

消防署は、11月中にひとり暮らしの高齢者（80歳以上）のお住まいを訪問して、防火診断を実施します。

※問い合わせ先 消防組合横芝分署 ☎82-1347
総務課広報防災係 ☎82-8803

『救える命』を救いたい 救急救命士による 救急処置が拡大します

消防署の救急救命士は、救急車で出場し医療機関に傷病者を収容するまで救急活動を行いますが、このうち心肺停止の傷病者には電気ショック(除細動)や静脈路確保のための輸液など救命処置を行っています。

また、平成16年7月からは、所定の研修を終了し知事の認定を受けた救急救命士による気管挿管の処置ができるようになり、ますます救命率の向上が見込まれます。

そこでこの研修を、旭中央病院を実習病院として行うこととなりました。

つきましては、専門医の指導のもと救急救命士が気管挿管の実習を行うに際し、傷病者の皆様方にご協力をお願いすることがあります。さらに多くの「救える命」を救うため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

八日市場市外三町消防組合消防本部
☎72-1917